

＜別紙：クレジットシステムの対象となる活動の証明書 記載事項例一覧＞

下表により、各活動における証明書の記載事項例について示します。

証明書には、①から⑥の事項が記載されていることが望ましく、記載事項に不足等ある場合、審査において証明書の可否を判断致します。

分類	項目	活動	単位	①主催団体名	②責任者名	③分類内訳名 (NDT 関連の活動であることが分かること)	④活動の名称	⑤活動の期間	⑥本人の氏名
会議・委員会等	1	NDT 協会の会員	1 年	NDT 協会名	NDT 協会の押印	——	会員種別等の名称	会員登録期間	会員の名前
	1	NDT 及びそれに関連する科学及び技術を対象としたセミナー、シンポジウム、会議及び／又はコースに出席	1 会議	主催団体名	会議等の責任者名・押印（主催団体印可）	セミナー、シンポジウム、会議及び／又はコース名	出席した委員会等の名称	出席した年月日	出席者の名前
	2.1	国際及び国内の標準化委員会への出席	1 委員会	主催団体名	標準化委員会の責任者名・押印（主催団体印可）	国際及び国内の標準化委員会名	出席した標準化委員会の名称	出席した年月日	出席者の名前
	2.2	標準化委員会の主催（委員長等）（主催と出席の両方のポイントが与えられます）	1 委員会	主催団体名	標準化委員会の責任者名・押印（主催団体印可）	標準化委員会名	主催した標準化委員会の名称	主催した年月日	主催者の名前
	3.1	上記2.1 以外の NDT 委員会への出席	1 委員会	主催団体名	委員会の責任者名・押印（主催団体印可）	委員会名	出席した委員会の名称	出席した年月日	出席者の名前
	3.2	上記2.1 以外の NDT 委員会の主催（委員長等）（主催と出席の両方のポイントが与えられます）	1 委員会	主催団体名	委員会の責任者名・押印（主催団体印可）	委員会名	主催した委員会の名称	主催した年月日	主催者の名前
	4.1	NDT 関連のワーキンググループ会合への出席	1WG	主催団体名	WG の責任者名・押印（主催団体印可）	WG 名	出席した WG の名称	出席した年月日	出席者の名前
	4.2	NDT 関連のワーキンググループ会合の主催（WG リーダー等）（主催と出席の両方のポイントが与えられます）	1WG	主催団体名	WG 会の責任者名・押印（主催団体印可）	WG 名	主催した WG の名称	主催した年月日	主催者の名前

分類	項目	活動	単位	①主催団体名	②責任者名	③分類内訳名 (NDT 関連の活動であることが分かること)	④活動の名称	⑤活動の期間	⑥本人の氏名
研究活動等	5.1	NDT 関連の技術的若しくは科学的貢献又は出版 (NDT 研究成果の報告) (複数の場合、主となる者が他の者に与えられるポイントを明示する。分割の端数は 0.1 刻みにする)	1 報告	発行団体名	報告物の発行責任者名・押印 (発行団体印可)	報告名	執筆した報告等の名称	発行年月日	執筆者の名前
	5.2	発刊された NDT 関連研究業務 (5.1 を除く NDT 関連出版物) (複数の場合、主となる者が他の者に与えられるポイントを明示する。分割の端数は 0.1 刻みにする)	出版物 1 執筆	発行団体名	出版物の発行責任者名・押印 (発行団体印可)	出版物名	執筆した出版物の表題等の名称	発行年月日	執筆者の名前
	5.3	NDT 研究活動 (研究活動そのもの) (複数の場合、主となる者が他の者に与えられるポイントを明示する。分割の端数は 0.1 刻みにする)	1 研究活動及び 1 プロジェクト	研究活動及びプロジェクトを行った団体名	研究活動及びプロジェクトの責任者名・押印 (研究活動及びプロジェクトを行った団体印可)	研究活動及びプロジェクト名	実施した研究活動及びプロジェクトの名称	実施年月日	実施者の名前
指導員・試験員	6*	NDT 技術指導員 (2 時間当たり) 及び/又は NDT 試験員 (試験 1 回当たり)	指導員 : 2 時間 試験員 : 1 日	主催団体名	NDT 技術講習会及び/又は試験の実施責任者名・押印 (主催団体印可)	技術講習会名及び/又は NDT 試験名	担当した講義及び/又は試験科目等の名称	担当した講義年月日と時間及び/又は試験日	講師及び/又は試験員の名前

分類	項目	活動	単位	①主催団体名	②責任者名	③分類内訳名 (NDT 関連の活動であることが分かること)	④活動の名称	⑤活動の期間	⑥本人の氏名
専門的な活動 (NDT 業務全般)	7.1	NDT 設備, NDT 訓練センター若しくは NDT 試験設備における活動又は NDT エンジニアリングのための活動(附属書 E 参照)(各通年)	1 年 (資格証明書ごとに)	_____	活動の責任者名・押印 (主催団体印可)	_____	活動した内容(要旨)	活動期間	活動者の名前
	7.2	顧客に関連した苦情処理	1 苦情処理 (資格証明書ごとに)	_____	活動の責任者名・押印 (主催団体印可)	_____	苦情処理した内容(要旨)	苦情処理年月日	苦情処理者の名前
	7.3	NDT の適用に関する開発 (NDT に関する特許の出願)	1 特許 (資格証明書ごとに)	_____	活動の責任者名・押印 (主催団体印可)	_____	特許の内容(要旨)	特許取得年月日	特許取得の名前

- * 6 項の NDT 技術指導員の場合、証明書とは別に、訓練内容が判断できる書類(教育訓練の開催案内、訓練計画書、受講者が訓練を受けた記録及び講師が訓練を行った記録、受講(予定)者一覧、スケジュール及びカリキュラム等)の添付が必要となります。
- * 証明書は、コピーでも構わない(クレジットシステム ポイント集計表において、提出された証明書類すべてを雇用責任者が証明するため)。
- * 「②責任者名」は、原則その活動の責任者としているが、「①主催団体名」の責任者又は責任を委譲されている者(例えば、主催団体事務局等)でも良い。
- * 「③分類内訳名」は、NDT 関連の活動であることが分かること。はっきりしないものは、NDT 関連活動であることを示す必要がある。NDT 関連活動であることを示せない場合、NDT 関連活動とは認めない。
- * 「④活動の名称」は、「③分類内訳名」における活動内容とする。
- * 「⑥本人の氏名」は、クレジットシステム対象者であることが分かること。本人であることが、はっきりしないものは認めない。

以上